

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2020年 第175号 令和2年9月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

対談!

特集記事 勝浦市地域おこし協力隊と市議会



特集記事 (対談)	2・3 P
審議結果 (トピックス)	4～6 P
委員会活動等	6～8 P
一般質問	8～13 P
きみの未来、あなたの未来	14 P
議会のうごき 編集後記	

令和2年11月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

地域おこし 協力隊 と 市議会

特集記事第22回は、今年から活躍している「地域おこし協力隊」のおふたりとの対談です。

地域活性化への熱い思いを語っていただきました。



左 フィルムコミッション担当
倉橋 定良 さん
右 朝市担当
石田 多仲 さん

時代と共に変えていく！

【勝浦の第一印象とお気に入りとは？】

●海の美しさです。住んでいる守谷の海に癒やされ、勝浦に来て本当に良かった！朝市で仕入れた食材をうまく使ってくださる美味しいお店が大好きです。(石田)

●海があまりにもきれいなのでびっくり！大好きな場所は浜辺と理想郷。「毛戸浦」が一番のお気に入り♡初めての口ケの付き添いは必死でしたが、今は楽しんで登れます。(倉橋)

【どのような仕事をしていますか？】

●地域おこしの朝市活性化を担当し、その基盤づくりに取り組んでいます。業務のプロセスを整理・分析して、重要な所から手を着けていきます。新規の出店者を増やしながら、運営に負担がかからないよう業務整理したいと思います。(石田)

●SNSで「日々、かつうら」というサイトを運営しています。観光・移住・滞在に関する記事を毎日載せ、主に東京方面に向けて勝浦の魅力を

発信！フィルムコミッションでは、テレビ・映画・CM・バラエティの口ケの受入れ等、細かい対応をしてトラブルがないよう立ち会い、運営しています。(倉橋)

【今後の抱負は？】

●朝市は、比較的容易に自分のお店が出せるのですが、それを知っている人が少ないので、インターネット等で募集ページを作りました。かつうらマルシェからの参入もあれば、月に

数件位は出店者が増えていくと予想しています。新規出店者に渡すトキコメント一式を用意して、しっかりと伝わるよう支援に力をいれます。(石田)

●インスタグラムに関して「いいね」を調べていくと全国広い範囲での閲覧がされ、広がって行く可能性を感じます。若い世代へのターゲットとしては、ツイッターも増やしていければと考えています。(倉橋)

【嬉しかったことや変えたことは？】

●フィルムコミッション業務については、365日24時間いつでも対応しています。「勝浦市は、遅い時間でも休みの日でも、きちんと対応してくれる」という言葉をいただいたのが一番嬉しかったです。(倉橋)

●自分より先に赴任した倉橋さんが、いろいろ気にかけてくださり、その思いやりが何より嬉しかったです。

●変えてみたい点の一つ。それは、トンネル一つ越えるとそこにチームができていて、地域相互のコミュニケーションが取りにくいように感じます。広く全体を通じて地域おこしができるといい。そのために、私達が潤滑油

になりたいと思います。(石田)

【どんなまちにしていきたいですか？】

●第一印象が大事！他のまちの例でいうと、まちに入った瞬間に、両脇にヤシの木、サイドには綺麗な花が咲いていて、南国のまちに来たという印象がありますが、勝浦の場合は、駅を降りた時や、高速を降りて大喜から市内に入った時の印象が、パツとしないのでは？

●若い人を惹きつけるオシャレなお店が増えるといいです。海沿いの遊歩道には、ベンチがあったり、ワンちゃんを連れて散歩ができたり・・・

●「わぁっ！いいな」と思う所を開拓しないと、まちは発展していかないのでは？自分だけのお気に入り場所ので終わってしまう現実を何とかしたいです。(倉橋)

●現在、経営をやめていく民宿等が増えています。恵まれた環境を生かした小さい規模のゲストハウスとしてやっていけるとよいです。東京から特急1本で到着する自然共存型の特別な場所「勝浦の魅力」を発信したいです。(石田)

【皆さんに呼びかけたことは？】

●観光客の路上駐車、マナー違反等、市民にとっては迷惑な話ですが、そこを運営に反映し、問題を時代とともに変えていく！解決策を皆で話し合しましょう。(倉橋)

●「皆さん、朝市に来て買い物をしてください！」でも、利用できない理由がいろいろあると思います。運営側としては、様々改善していく決意ですので協力宜しく願います。(石田)



倉橋 定良 さん



石田 多仲 さん

令和2年9月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○9月定例会 会期 9月7日から9月23日まで17日間

審議案件一覧

◎全会一致

○賛成多数

×賛成少数

議案番号	件名	付託委員会	結果
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度勝浦市一般会計補正予算について)		承認◎
議案第46号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決◎
議案第47号	勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決◎
議案第48号	令和2年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教	可決◎
議案第49号	令和2年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第50号	令和2年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第51号	令和2年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第52号	令和2年度勝浦市水道事業会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第53号	いすみ市と勝浦市における適応指導教室事務の委託について	総務文教	可決◎
議案第54号	決算認定について(平成31年度勝浦市一般会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第55号	決算認定について(平成31年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第56号	決算認定について(平成31年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第57号	決算認定について(平成31年度勝浦市介護保険特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第58号	決算認定について(平成31年度勝浦市水道事業会計決算)	決算審査	認定◎
議案第59号	令和2年度勝浦市一般会計補正予算		可決◎
議案第60号	勝浦市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		同意◎
議案第61号	勝浦市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意◎
議案第62号	勝浦市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意◎

議員提出議案

発議案第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について		可決◎
--------	--	--	-----

議会報では、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

●トピックス その1

補正予算に議会からの新型コロナウイルス対応に係る要望が反映されました。

勝浦市議会災害対策支援本部長として、議長より各市議会会派からの新型コロナウイルス対応の要望事項41件を集約し、9月定例会に先立つ7月20日付けで市長に提案を行いました。その結果、予算を伴う要望の内、補正予算（議案第48号）で予算化された事業は以下のとおりです。（※要望事項の一部に関連するものも含む）

●予算化された事業

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業】

- ・感染拡大防止啓発事業
- ・感染拡大防止対策事業（庁舎内の飛沫感染防止対策）
- ・緊急時分散勤務体制整備事業
- ・高齢者タクシー利用料助成事業
- ・かつうら妊婦支援臨時給付金給付事業
- ・感染拡大防止対策事業（新型コロナウイルス感染症病床確保等支援事業補助金）
- ・上水道事業（水道事業会計補助金）水道基本料金を6か月間半額免除
- ・農林水産業者緊急支援事業
（勝浦市農林業者経営継続支援金・勝浦市水産業者経営継続支援金）
- ・中小企業等緊急支援事業（プレミアム付商品券・勝浦市中小企業等経営支援金）
- ・キャッシュレス観光振興事業
- ・宿泊施設支援事業（みんなで元気に！勝浦「おもてなし」提供事業補助金）
- ・観光基本計画策定事業
- ・学校給食費コロナウイルス対策補助金（小学校・中学校半額補助）
- ・学校用務員配置事業（各学校1名から2名増員、学校施設消毒業務）
- ・小学校管理運営経費・中学校管理運営経費（体育館シーリングファン設置工事費）
- ・感染拡大防止対策事業（トイレ手洗い水栓を非接触型水栓に改修）
（図書館・集会所・社会体育施設・スポーツ施設）

【交付金充当事業外】

- ・保健衛生用品等消耗品費（マスク・消毒液・体温計等）
- ・備品購入費（空気清浄機等）
- ・放課後児童健全育成事業（放課後ルーム）
- ・保育所管理運営経費（上野保育所・総野保育所）
- ・児童環境づくり基盤整備事業（児童館）
- ・認定こども園管理運営経費
- ・母子保健事業（ひだまり）



●トピックス その2

65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種費用の助成金が現行1,000円から2,000円に増額されます。

●議案第59号令和2年度勝浦市一般会計補正予算

感染症等予防接種事業

この冬のインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備え、65歳以上の高齢者の発病及び重症化、そのまん延予防対策として、インフルエンザワクチン予防接種を促すよう予防接種費用の本人負担を軽減し、その軽減分について市負担額として増額するための補正予算が可決されました。

インフルエンザ予防接種業務委託料

対象者 接種する日に満65歳以上の方

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、議案第46号の条例制定、第48号一般会計補正予算、第53号適応指導教室事務の委託についての計3件が付託され、9月14日に委員会を開催し、付託事件について審議を行った結果、いずれも全員賛成で「可決」されました。

最終日の本会議において、総務文教委員長からの審議結果報告後、採決を行い、付託された3件の議案は、委員長報告のとおり「可決」となりました。

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会には、議案第47号の条例制定、第49号～第52号「国民健康保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」「介護保険特別会計」「水道事業会計」の補正予算の計5件が付託され、9月15日委員会を開催し、付託事件について審議を行った結果、いずれも全員賛成で「可決」されました。

最終日の本会議において、産業厚生委員長からの審議結果報告後、採決を行い、付託された5件の議案は、委員長報告のとおり「可決」となりました。

決算審査特別委員会

平成31年度勝浦市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、以上5件の歳入歳出決算を審査するため、7人の委員による決算審査特別委員会を設置し、9月16日及び17日の2日間、予算の執行状況、財政運営等や予算執行に関する諸帳簿の確認と審査の結果、一般会計及び、その他4会計はいずれも全員賛成で認定すべきものと決定しました。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委 員		
久我 恵子	渡辺 ヒロ子	・磯野 典正 ・照川 由美子	・狩野 光一 ・松崎 栄二	・鈴木 克己

決算審査特別委員会での主な質問

Q 有害鳥獣捕獲事業の捕獲成果について

A 捕獲頭数は前年度に比べ増加しており、キョンの捕獲頭数が増えている。しかし、生息数は年々増加しているため駆除対策を進めていく。

Q 空き店舗活用事業の成果について

A 勝浦中央商店街にパイロット店舗としてかつうら商店を開設し営業している。朝市に近いため、観光に訪れたお客様に土産物屋としてだけでなく、通年のイベント情報や観光スポットの発信を行い、観光地として誘致、案内し素敵な旅を提供する場所として活用した。

Q 国民健康保険特別会計の特定健康診査事業について

A 受診率は33.6%、前年度と比較し5ポイント増加した。特定健診受診率向上事業を実施し、集団健診では133人の増加が見られた。

Q 水道事業会計の赤字となった要因について

A 人口減少と特殊要因として保養施設の閉鎖と、医療機関での地下水との併用が加わったことによる水道料金の減収が大きな要因である。



決算審査特別委員会の様子
※新型コロナウイルス感染症対応として議場にて行われました。



関係諸帳簿及び証書類検査
※机、座席の間隔をとりアクリル板の設置を行い対策を取りました。

勝浦市議会表彰受賞者決定

令和2年9月2日に、勝浦市議会表彰選考委員会を開催し、前期分（令和2年1月1日から6月30日の期間）の市内小中学校の児童・生徒を対象とした受賞候補者を学校より推薦していただき、選考審査をした結果、表彰者が決定しました。

なお、表彰授賞式につきましては、令和3年3月定例会の初日に、市役所5階の議場において行われる予定です。

- 1 被表彰者** 上野小学校2年生 19名
表彰基準 「第3回CHIBA子ども新聞コンクール」、
 「学級新聞小学校部門」千葉県知事賞
 上野小学校1年生（令和2年3月7日受賞）



一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。
 また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。

9月10日				
寺尾 重雄 議員	佐藤 啓史 議員	磯野 典正 議員	戸坂 健一 議員	狩野 光一 議員
①旧行川アイランド跡地のリゾート計画について	①コロナ禍における教育課題について ② With コロナ時代の観光振興について	①持続可能な地域づくりについて	①内閣府「スーパースィティ構想」への公募参加について ②市長のSNS活用の必要性について	①デマンド型乗合タクシーの運用管理について ②ごみ処理事業継続に対する市の対応について

9月9日				
鈴木 克己 議員	渡辺ヒロ子 議員	久我 恵子 議員	岩瀬 洋男 議員	照川由美子 議員
②コロナ禍の中での夏季観光と行政の対応について	①朝市活性化について	①フレイル健診について	①山林のナラ枯れ対策について	①災害時の「水・電気・情報伝達の確保」について ②「郷土資料室」の整備について

9月9日・10日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

市政の「ココ」が聞きたい 一般質問





照川由美子議員

災害時の「水・電気・情報伝達の確保」について

Q 断水の発生を未然に防ぐ方策と課題は？

A 昨年の反省から、いざという時に設備や機械を確実に運用できるように準備している。点検時に取水から送水までの負荷運転を実施するようにした。水道未普及地域を含めた地下水利用者への応急給水が課題である。

Q 停電予防対策として電線付近の伐木等が必要ではないだろうか？

A 広報で、停電を減らすための伐木等取組のお願いをした。後処理は電力会社と基本協定等締結し対応していく。

Q 庁舎地下にある非常用発電設備は、まもなく

耐用年数の30年となる。稼働時間は31時間、燃料はA重油。災害時を想定し、燃料の確保や稼働時間の延長をどのようにしていくのか？

A まずは稼働時間基準の72時間確保に向け、燃料の備蓄増量等、法律の規制を踏まえて検討していく。災害時の燃油の調達方法等は今後の課題。

建築当初と比べ、庁内における電力需要の増加等を受け、様々な面から調査検討を行う。

Q 発電設備を新しくした場合の予算は？

A 地上に新規設置した場合、発電機やタンクを覆う建物を含め、概算1億円近くの予算がかかるかと聞いている。

Q 災害停電時、防災行政無線はどの程度維持できるのか。市民が情報を得る手段は？

政無線はどの程度維持できるのか。市民が情報を得る手段は？

A 防災行政無線はアナログ方式から72時間分のバッテリーを有するデジタル方式に移行していく。防災メール、かつうらメール、広報車による伝達手段等充実を図る。

「郷土資料室」の整備について

Q 資料を保管する場所と、現在の課題は？

A 本年4月から運用開始した「興津集会所」（興津中）2階空教室に集約保管したい。エアコンやガラスケース等の設備が整ってから運搬すべき資料もあり、文化財審議委員等関係者に伺いながら作業を進めたい。



興津集会所



岩瀬洋男議員

山林の「ナラ枯れ」について

Q ナラヤシイ、カシ類の木が茶色に枯れる「ナラ枯れ」という被害が広がっています。

A この被害状況と原因について伺います

A 平成30年度は全国32府県で発生しています。千葉県では平成29年9月に鴨川市天津で初めて確認されており、被害樹木はマテバシイとなっています。

原因は、6月から8月頃にかけて、ナラ菌を持ったカシノナガキクイムシが健全な樹木に飛来し穿入します。

これによりナラ菌が樹木内に持ち込まれ、そのナラ菌が蔓延すること

で、最終的に通水障害を発生し、特に水分を必要とする夏の時期に枯れ死します。

Q 伐採には費用がかかり、危険も伴うことから

放置せざるを得ない山がほとんどだと思います。今後、被害が拡大しても自然終息を待たざるを得ないと考えますがいかがでしょうか。

A この虫は樹齢40年から50年の木を好む傾向にあります。昔は木々をシイタケの原木として利用するとか、燃料として順番に伐採することで自然再生させ若い木々が残り続けた。

山奥の尾根に発生している「ナラ枯れ」の木に対して積極的に防除対策をするのも効果的ではないので、自然再生、天然更新の考えも一つである

と考えられています。**Q** 何年程度で自然再生するのでしょうか。**A** 通常ですと15年から20年ほどで自然再生します。

千葉県は発生してから今年で4年になります。中部地方では終息しているようですので、そういった状況から10年程度で終息すると見込んでいます。

現在、千葉県ナラ枯れ被害対策協議会が構築されているので、関係機関と連携して対応を考えていきます。



ナラ枯れ



久我恵子議員

フレイル健診について

Q 2020年4月から、後期高齢者を対象にフレイル健診の導入が始まった。フレイルとは、

加齢に伴い運動する機会が減り、筋肉の減少、食欲の低下といった「身体的フレイル」。記憶力の低下、気分的な落ち込みといった、「精神的フレイル」。社会的な孤立、経済的な面からの「社会的フレイル」の3つがある。特に今年は、新型コロナウイルス感染症の流行で自宅に引きこもりがちとなり、健康な状態から要支援、要介護となるフレイル状態への移行が懸念される。フレイルの状態は、適切な対応や、支

援によって、健康な状態に戻ることが出来ると思われている。高齢化率の高い勝浦市において、高齢者の健康寿命を延ばす事は、重要である。勝浦市におけるフレイル健診への考えと周知、実施状況についてお聞きする。

A 新たな仕組みであるフレイル健診は重要であると考える。これまでの標準的な質問票から、高齢者の特性を踏まえた問診を実施し、高齢者の健康状態を総合的に把握する事や、フレイルの周知について努めたい。

高齢者のインフルエンザ予防接種助成について

Q この冬、新型コロナウイルス

インフルエンザの同時流行が懸念される。勝浦市では、インフルエンザ予防接種について、65歳以上の方へ1000円の補

助金を出しているが、昨年の接種率は50%弱と聞いている。接種率を上げ、市民の健康と命を守る為に市民全員に補助を出すべきと考える。接種率の向上と予防接種による医療機関の密を避けるための工夫が必要ではないか。

A 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの症状が類似していることからインフルエンザの予防接種は有効であると考ええる。65歳以上の方への補助金を1000円から2000円に引き上げたいと考える。医療機関の密は医師会と相談しながら対策を講じたい。



朝市活性化について



渡辺ヒロ子議員

Q 伝統ある勝浦の朝市は、観光商業において大きな役割を担っています。朝市を活性化し長く継続

するためにも、整備と改革を進めるべきと考えます。この点について、市としての考えをお伺いします。

A 朝市の活性化は、戦略事業の一つとして大きな位置づけをしています。各団体と連携して「勝浦マルシェ」等、来場者及び出店者を増やすための施策を実施していきたいと考えています。

Q 勝浦マルシェを開催

してから、来場者数の変化等の効果はありましたか？また、朝市の購買力を高めるために、生産者イコール販売者という朝

市の魅力を最大限に生かした広報をしていくべきと考えますが、看板の設置、情報発信といった宣伝活動について、市としての考えをお伺いします。

A 8月のマルシェは非常に盛況で、そこから朝市の出店者としての登録もありました。広報活動としては、HPやSNSに出店者情報や開催情報を掲載していますが、今後も情報発信力を強くしていきたいと考えています。

Q 来訪者がどんな商品やサービスを望んでいるのか、リサーチも必要と考えます。市内団体や商店への協力要請も含め、朝市の整備を積極的に進めてください。またハード面での整備も必要と考えます。

A 勝浦の財産である朝市を持続可能な形にするために、勇気と情熱を持ってやっていきたいと思っています。

A 勝浦の財産である朝市を持続可能な形にするために、勇気と情熱を持ってやっていきたいと思っています。

日々、かつら
9月9日

『Katsuura あさいち share マルシェ』開催概要
日時 令和2年9月13日(日)
※毎月第2日曜日
時間 7:00~12:00
場所 下本町朝市通り
※小雨決行、荒天中止

さて、そんな『Katsuura あさいち share マルシェ』では共に盛り上げていただける方を募集しております。
詳しい内容は、(一社)勝浦市観光協会まで
TEL:0470-73-2500



鈴木克己議員

高齢者の生活支援と終活への取り組みについて

Q 買い物支援について、平成30年度9月議会質問で、県が移動困難者調査・対策事業アンケート調査を実施する。その結果を踏まえ検討することとしたが、事業実施に向けての取り組み等、どのような検討がされたのかお伺いします。

A 県の調査及び市独自アンケートの結果を踏まえ、高齢者への支援については、タクシー利用料助成を行う高齢者外出支援サービス事業を実施計画に掲げ、令和3・4年度を実証期間としました。

Q 高齢者世帯や単身高齢者に寄り添う施策として、人生を閉めることへの自治体としての終活に向けた支援について、エンディングサポート事業や終活登録事業に取り組みご提案するものですがご見解を伺います。

A 速やかに先進地事例を調査し事業化にむけて検討します。

コロナ禍の中での夏季観光と行政の対応について

Q 海水浴場として設置を行わなかった中央海水浴場の場所に、ウオーターアイランドを営業した事業実施主体と市との関係についてお伺いします。

A 運営は、観光協会を主体とするウオーターアイランド実行委員会が担っており、市が直接的に関係しているものではありません。

Q コロナ蔓延防止のために海水浴場の開設を中止

したにも関わらず、ウオーターアイランドが営業されたことに対しての市としての見解を伺います。

A 入場の際の検温や、予約制による入場者の制限ができること、また、入場者の氏名、連絡先を確認できることなどから、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が取られており、経済的に甚大な被害を受けている観光関連業者を活性化するための一つの手段として、観光業の需要喚起に効果の大きいものと考えています。



完全に閉鎖した守谷海岸



狩野光一議員

ごみ処理事業継続に対する市の対応について

Q 市2町による広域処理施設の建設が白紙化されたことを受けて、今後市としてとり得る選択肢にはどのようなものがあるか。

A 1、市単独で新規に施設を整備する。2、新たな枠組みで広域施設を整備する。3、他市町村に委託する。等が考えられる。

Q 今後の方向性を見定めるために、会議体等を構成して早急に取り組みべきと思うが、どのように考えているか。

A 県の廃棄物処理計画が本年度で終了することから、計画の見直しが行われている。その内容及

び近隣市町の情報等を調査しながら、基本的な方向性がある程度決まった段階で、より具体的に検討したい。

デマンド型乗合タクシーの運用管理について

Q これまでのデマンドタクシー事業に対する、市としての評価をお伺いする。

A 1日あたりの乗車人数は、31年度は19・8人だった。初年度が15・8人であったことを考慮すれば、市民への定着が進んでいると考えている。

Q 利用者の意見・要望の収集方法と主なご意見は。

A 車内や郵便によるアンケート調査を行っており、主なご意見としては、運行時間の拡大や予約方法の改善を求めるものが挙げられる。

Q 事業開始以降、これまでどのような点を改善してきたか。

A 運行日や運行区域の拡大、予約方法の改善、免許返納者への料金割引などを実施している。

Q 高齢者の生活の足として重要な、公共交通機関の拡充について、市長はどのようにお考えか。

A デマンドタクシーに限らず、様々な形態による市民の足の利便性を検討していく。現状の調査や実証などを経ながら、高齢者支援の観点からの移動支援策を実現したい。





戸坂健一議員

市長のSNS活用の必要性について

Q コロナ禍以降、市長による迅速かつ正確な情報発信が求められている。フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用し、市民への情報発信を充実させるべきと考えるが。

A 市の情報発信と同様に信頼性の確保に努める必要があるため、有用性も含め検討する。

Q SNSは双方方向の情報伝達手段であり、市長が情報発信すれば賛成や応援だけでなく反対や厳しい意見も頂く事になる。しかしそれは今の時代政治家として受け入れるべきものでもある。市長は所信表明で示された理念を実現する為にも是非ともSNSによる情報

発信をすべきだと考えるが如何か。

A SNSの有効性は認めるが、市役所の規模職員のマンパワーの問題からも、市のトップとしての情報発信には慎重を期すべきと考える。

内閣府スーパーシティ構想への応募の必要性について

Q 現在、政府は先進技術や規制緩和を活用し世界最先端のまちづくりを先行実施するスーパーシティ構想を打ち出し、その候補地の選定や自治体からのアイデア募集を実施している。勝浦市も市単独では解決困難な諸課題を解決すべく、これから公募に応募すべきではないか。

A 本市としても、人口減少や少子高齢化による諸課題を解決するための方策として、将来的に先進技術の導入は必要だと考えるが、現在のところ

自治体公募及びアイデア公募に応募するのは困難だと考えている。

Q 市6月時点で、国の公募には56の市町村が応募しており、県内では千葉市、市原市、木更津市が名乗りを上げている。勝浦市として、これまでスーパーシティに関する会議や検討はあったのか。

A スーパーシティに関する協議や検討などはこれまで実施していない。

Q 国の方針である以上、検討すべき課題である事に変わりはない。勝浦市としても、国の構想の目的や理念をきちんと理解し対応していくべきでは。

A 今後、情報収集に努め、様々な政策を精査検討していく。



磯野典正議員

持続可能な地域づくりについて

Q 勝浦市が目指すSDGsはどのような目標を検討しているか？

A 現在実施している本市の施策においても、多くのSDGsの掲げる17項目の目標に合致しているものと考ええる。

今後は、施策分野や個別事業ごとに該当する項目にアイコンを表示するなど各施策との関係性を明確にし、SDGs目標を踏まえた計画としたい。

Q テレワーク移住・企業誘致への取り組みについて市の考えは？

A 人・企業の地方分散は始まっている。テレワークの普及は地方移住を後押しする大きな要素

である。このような動きはチャンスであり、積極的に捉えていく。

Q 総務省が行う地域おこし企業人交流プログラムを活用し首都圏の大企業からの人材を受け入れ、外部からの知恵をいただくこのプログラムの活用を市はどう考えるか？

A 速やかに前向きに検討する。

Q 長期的な「勝浦未来地図」を創造し目標達成をしていくには「SDGs 勝浦市プロジェクトチーム」を立ち上げる必要があると思うが市の考えは？

A 現在のところ立ち上げは考えていないが、来年度から開始する次期総合計画の策定の段階においてSDGsが掲げる17の目標について認識を高め研究していく。

Withコロナ時代の観光振興について

Q ニューノーマルな時代を迎えるなか、店舗等での感染症対策は？また、感染症対策宣言（ガイドライン）事業者ステッカーなどの交付について市の考えは？

A 業界団体による感染予防対策のガイドラインに沿って努めており、今後感染症対策講習会を行い、受講者には証明書の発行を行う。





佐藤啓史議員

コロナ禍での教育課題について

Q 修学旅行は中止となったが、新たな生活様式に沿った形態の修学旅行や卒業旅行などの代替案を考えていただきたいと思うが教育委員会の見解は？

A 修学旅行の代替行事については、学校の考えを尊重しつつ、新型コロナウィルス感染症の状況を踏まえ、慎重に検討したい。

Q 体育祭、運動会の実施は？

A 勝浦中については9月5日に体育祭を実施。小学校については、9月26日に興津小、勝浦小、豊浜小、10月3日に上野小、総野小が運動会を予

定している。いずれも感染防止対策を講じて実施するとの連絡を受けている。

Q 文化祭の実施は？

A 10月23日に勝浦中が文化発表会、11月29日に上野小が学習発表会、12月4日に興津小が音読発表会を予定している。勝浦小、豊浜小、総野小については検討中と聞いている。文化祭実施についても感染防止対策を講じて実施すると聞いている。

Q 学校生活におけるコロナ感染対策についてお聞きする。

A 県教育委員会が発出したガイドラインに基づき、8月26日付で保護者へ通知文書を出した。学校では、3密の回避、手洗い、マスクの着用、学校施設や用具の清掃及び消毒、換気、ソーシャ

ルディスタンスの確保などを実施している。

Q 部活動での感染対策は？

A 県教育委員会及び各種目の競技団体からガイドラインが示されており、それを踏まえて部活動を実施している。

Q コロナ禍において教員やPTAの負担が増えている中で、学校支援ボランティア組織の設立が求められているが？

A 本年4月に要綱を制定し、7月14日に勝浦市地域学校協働活動運営委員会を開催した。協議した結果、環境整備支援、安全対策支援、学校行事支援について学校ボランティアを募集した。9月9日現在で個人13名、5団体から登録申請があり支援活動を行っている。



寺尾重雄議員

民間企業「共立メンテナンス」が計画した「行川アイランド跡地」の跡地に計画された(仮称)「勝浦シーサイドパークリゾート」の件

Q 平成13年に閉鎖された「行川アイランド」ですが、今までの跡地のリゾート計画と経緯についてお伺いします。

A 平成26年に(株)共立メンテナンスから「勝浦シーサイドパークリゾート」計画が告げられ、勝浦市が計画推進に向けた施策の検討、県・関係機関との協議等支援してきました。

Q 平成30年5月に議員全員説明会で当時の構想は説明され、その後市長が、共立メンテナンス本社に訪問されていますが、内容に関して伺います。

A 昨年11月に本社訪問して、会長・役員と会いました。事業系計画の推進状況を確認したところ、今年1月に事業予算が出て、事業決定、着工に向かう、と確約いただきました。その後、当初の事業収支等が2倍になるため計画がすぐには出来ない、と回答がありました。コロナという状況もありましたが、時期をみて、ぜひ跡地の有効活用を進めたい、という思いを伝えるつもりです。

Q 市民は観光・雇用等で期待していると思いませんか？

A 2倍になるから出来ないのではなく、どのように話を進めていくかが問題ですが、今後の方針対応をお伺いします。



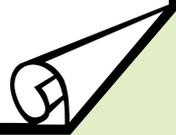
きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
酒井 麻帆 さん
さかい まほ

私は将来、人を笑顔にする仕事をしたいです。笑顔は素晴らしいものだと思います。楽しい時に笑えばさらに楽しい気持ちになり、辛いときに笑えば少しは明るく前向きな気持ちになると思うからです。今はまだ、私は誰かに笑顔にしてもらっているけれど、いつかは私も誰かを笑顔にしたいと思っています。

以前、イベントのボランティアで来場者に声をかけて写真を撮る仕事をしました。その時、幼い子を笑顔にするためにどうしたらよいか考え、声の掛け方を変えるなどの工夫をして写真撮影を行いました。その子が笑顔になってくれた時、見ている私まで楽しくなり、人を笑顔にする仕事に就きたいと思いました。まだ、私はどんな仕事に就くか細かいことは決めていないけれど、日頃から自分が笑顔でいることを心掛け、どんな仕事にも就けるよう、何事も一生懸命取り組みたいです。



議会のうごきについて報告します (令和2年8月~令和2年10月)

議会のうごき

8月4日	南房総広域水道企業団運営協議会 (大多喜町)	11日	本会議 質疑
4日	介護保険運営協議会	14日	総務文教常任委員会
5日	議会報編集委員会	15日	産業厚生常任委員会
17日	議会運営委員会	16日	決算審査特別委員会
	議会改革検討委員会	17日	決算審査特別委員会
31日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合定例会 (いすみ市)	23日	本会議 最終日 議会運営委員会 議会報編集委員会
9月1日	勝浦漁協市場地鎮祭	10月23日	国道 297 号整備促進期同盟要望活動 (千葉市)
2日	議会運営委員会	29日	議会運営委員会 全員協議会 議会改革検討委員会
7日	本会議 初日		
9日	本会議 一般質問		
10日	本会議 一般質問 議会改革検討委員会		

編集後記

今回の特集記事は、地域活性化にご尽力くださっている『地域おこし協力隊』のお二人をお迎え致しました。着任早々、多くの会合やイベントが中止となり、活動自体が難しかったことと思いますが、このコロナ禍にあっても、勝浦市が元気を取り戻すために、さらにご尽力いただき、議会としても、皆様からの声を一つでも多く集め、市内経済の立て直しを目指したいと思っています。

議会報編集委員 渡辺 ヒロ子

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!



勝浦カッピー